

目次

北海道&東日本編

☑	1	令和7年度(2025年)	北海道	問題 ……………	11
				正解&解説 ………	26
☑	2	令和6年度(2024年)	北海道	問題 ……………	37
				正解&解説 ………	51
☑	3	令和7年度(2025年)	東北地方	問題 ……………	63
				正解&解説 ………	80
☑	4	令和6年度(2024年)	東北地方	問題 ……………	91
				正解&解説 ………	108
☑	5	令和7年度(2025年)	新潟県	問題 ……………	121
				正解&解説 ………	131
☑	6	令和6年度(2024年)	新潟県	問題 ……………	139
				正解&解説 ………	148
☑	7	令和7年度(2025年)	長野県	問題 ……………	157
				正解&解説 ………	177
☑	8	令和6年度(2024年)	長野県	問題 ……………	187
				正解&解説 ………	205
☑	9	令和7年度(2025年)	富山県	問題 ……………	217
				正解&解説 ………	235
☑	10	令和6年度(2024年)	富山県	問題 ……………	247
				正解&解説 ………	266

● 毒物劇物取扱者試験について ●

毒物または劇物を取り扱う製造所、営業所または店舗は、**毒物及び劇物取締法**に基づき、専任の「**毒物劇物取扱責任者**」を置かなければなりません。

毒物劇物取扱者試験は、この「**毒物劇物取扱責任者**」になるために、**各都道府県が年1回**実施しているもので、年齢や職業、国籍などにかかわらず**誰でも受験**することができます。

毒物劇物取扱者試験は取り扱う毒物劇物の種類によって、以下の3つに区分されます。

①一般毒物劇物取扱者

…全ての毒物劇物を、全ての製造所・営業所・店舗で取り扱うことができる

②農業用品目毒物劇物取扱者

…厚生労働省令で農業用品目と定められた毒物劇物を、輸入業の営業所・農業用品目を販売する店舗で取り扱うことができる

③特定品目毒物劇物取扱者

…厚生労働省令で特定品目と定められた毒物劇物を、輸入業の営業所・特定品目を販売する店舗で取り扱うことができる

● 本書について ●

本書は、北海道、東北地方（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）、北信越地方（新潟県、長野県、富山県）で、**令和7年度**および**令和6年度**に実施された**一般毒物劇物取扱者試験**の問題をまとめたものです。

実際の試験に出題される問題の構成パターンは、各都道府県により、主に次の2通りに分類されます。

パターンⅠ	パターンⅡ
1. 毒物及び劇物に関する法規	1. 毒物及び劇物に関する法規
2. 基礎化学	2. 基礎化学
3. 毒物及び劇物の性質及び貯蔵 その他の取扱い方法	3. 実地 (性質・貯蔵・取扱い方法含む)
4. 実地	—

※上記「1. 毒物及び劇物に関する法規」と「2. 基礎化学」は、農業用品目毒物劇物取扱者試験、特定品目毒物劇物取扱者試験との共通問題です。

本書では、パターンIで構成されている都道府県の問題においても、「3. 毒物及び劇物の性質及び貯蔵その他の取扱い方法」と「4. 実地」をまとめて収録し、以下の3つに区分して、試験問題を掲載しています。

◆ 毒物及び劇物に関する法規

◆ 基礎化学

◆ 実地（性質・貯蔵・取扱い方法等）

問題掲載の都合上、出題形式を一部変更・編集している箇所があるため、実際の問題番号とは異なる場合があります。また、問題文の末尾に「改」と入っている問題は、**法改正や学習指導要領の改訂**に応じて、弊社で内容を現行に沿うよう改めたものです。

解説は、実際に毒物劇物取扱者試験に合格し、毒物劇物取扱責任者の資格を持った弊社の担当者が監修・作成したものを収録しています。

必要な内容のみ簡潔に示しているため、わからなかった問題や間違えてしまった問題を解説をもとに繰り返し解くことで、苦手部分を集中的に勉強でき、重要なポイントを覚えることができます。

各問題の左端に付いている は、正しく答えることができたかどうかの確認等にご活用ください。

◆ 毒物及び劇物に関する法規の解説では、特にただし書きがない場合、法令名を次のように略しています。

毒物及び劇物取締法	取締法
毒物及び劇物取締法施行令	施行令
毒物及び劇物取締法施行規則	施行規則
毒物及び劇物指定令	指定令

なお、本書は令和8年1月1日時点での法令に対応していますので、1月以降の法令改正についてはご注意ください。

◆ 基礎化学の解説では、日本化学会の提案や学習指導要領の改訂による用語・定義の一部変更により、次のような対応をしています。

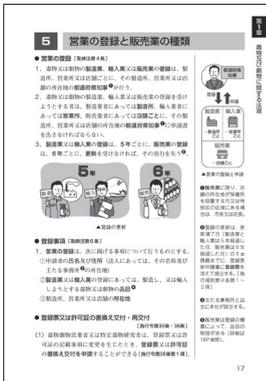
- ◎ 「気体から固体への変化」を「昇華」から『凝華（ぎょうか）』に変更。本書では、新旧表記いずれも併記。
- ◎ 「希ガス」を「貴ガス」に統一。
- ◎ 2族元素はすべてアルカリ土類金属に含まれるものとし、遷移元素の範囲を3～12族とする。

◆ **実地（性質・貯蔵・取扱い方法等）**の解説では、物質を見分ける際の特徴であり、かつ覚えておくべき**キーワード**を、次のような【 】でくくり、併記しています。

【解説】ア. スルホナールC₇H₁₆O₄S₂ [木炭] [メルカプタン]
 イ. アニリンC₆H₅NH₂ [さらし粉] [紫色]
 ウ. セレンSe [熱灼すると特有のニラ臭] [冷えると赤色の塊]
 選択肢4は [ヨードのエーテル溶液] [褐色の液状沈殿] [放置すると赤色針状結晶] から、ニコチンC₁₀H₁₄N₂が考えられる。

本書の解説に加えて更に内容を深く掘り下げて勉強したい方は、**全ての都道府県、全ての受験区分に対応している「毒物劇物取扱者 短期合格テキスト」**を一緒にご活用いただくことをお勧めします。

この書籍はテキストタイプとなっており、本書と同様に「1. 毒物及び劇物に関する法規」、「2. 基礎化学」、「3. 実地（性質・貯蔵・取扱い方法含む）」の3つの章で構成されています。各章ごとに細かく内容が分かれており、その項目毎にテキストと練習問題を掲載しているの**で、短期間で集中的に学習したい方や、初めて受験される方にもわかりやすい内容**となっています。



※画像は第4版のものです。

● 購入特典について ●

本書の購入特典として、ホームページ上に**全都道府県の過去問題と解答のみのデータ**を各5年分ずつ掲載しています。また、スマートフォンアプリを使用した無料追加コンテンツも公開しています。詳しい内容は巻末をご覧ください。

利用される際には、下記のIDとパスワードが必要です。パスワードの有効期限は次年度版が発刊されるまでとなりますので、ご注意ください。

ID	
パスワード	

※公論出版ホームページのトップページにある「過去出題問題」から「毒物劇物取扱者 過去実施問題」を選択し、上記IDとパスワードを入力してください。

※ログイン時にエラーが発生した場合は、ブラウザを変えるなどして再度ログインしてください。ログインエラーによる個別対応は行っておりません。

※ホームページ掲載分の問題と解答は試験当時の法令・用語に基づいており、最新のものと異なる場合があります。

● 効率的な勉強方法 ●

弊社編集部では、担当者が本書の過去版をもとに勉強し、実際に毒物劇物取扱者試験を受験しました。合格した都道府県は次のとおりです。

都道府県	合格証発行	合格証番号	都道府県	合格証発行	合格証番号
岩手県	H27/12/18	第17号	新潟県	H27/11/24	第4143号
秋田県	H27/10/30	第000029号	石川県	H28/2/29	第9368号
茨城県	H27/9/8	第11970号	山梨県	H29/3/1	第3574号
群馬県	H27/11/9	第9026号	奈良県	H28/3/4	第2534号
千葉県	R4/9/8	第8334号		H29/3/3	第2570号
東京都	H27/8/4	第22795号	滋賀県	H28/3/4	第3248号
	H28/8/2	第23527号	高知県	H27/9/30	第1404号
	R4/8/10	第25621号	福岡県	H27/9/4	第201183号
神奈川県	H27/7/13	第11457号			

毒物及び劇物に関する法規

【1】 次の文は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。（ ）にあてはまる語句として、正しいものはどれか。

- ア. この法律で「劇物」とは、別表第2に掲げるものであって、(A)及び(B)以外のものをいう。
- イ. 毒物又は劇物の(C)の(D)を受けた者でなければ、毒物又は劇物を販売又は授与の目的で製造してはならない。
- ウ. 次に掲げる者は、前条の毒物劇物取扱責任者となることができない。
- 一 (E)未満の者
 - 二 心身の障害により毒物劇物取扱責任者の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
 - 三 麻薬、(F)、あへん又は覚せい剤の中毒者
 - 四 毒物若しくは劇物又は薬事に関する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終り、又は執行を受けることがなくなった日から起算して3年を経過していない者
- エ. 毒物劇物営業者は、政令で定める毒物又は劇物については、厚生労働省令で定める方法により(G)したものでなければ、これを(H)として販売し、又は授与してはならない。
- オ. 都道府県知事は、毒物又は劇物の製造業、輸入業又は販売業の登録を受けようとする者の(I)が、厚生労働省令で定める基準に適合しないと認めるとき、又はその者が第19条第2項若しくは第4項の規定により登録を取り消され、取消しの日から起算して(J)を経過していないものであるときは、第4条第1項の登録をしてはならない。

- | | | | | |
|---------------------------------------|----------|---------|--------------|--------|
| <input checked="" type="checkbox"/> A | 1. 医薬品 | 2. 毒物 | 3. 危険物 | 4. 石油類 |
| <input checked="" type="checkbox"/> B | 1. 毒薬 | 2. 高圧ガス | 3. 医薬部外品 | 4. 劇薬 |
| <input checked="" type="checkbox"/> C | 1. 販売業 | | 2. 製造業 | |
| | 3. 製造販売業 | | 4. 毒物劇物取扱責任者 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> D | 1. 免許 | 2. 資格 | 3. 登録 | 4. 許可 |
| <input checked="" type="checkbox"/> E | 1. 14歳 | 2. 16歳 | 3. 18歳 | 4. 20歳 |
| <input checked="" type="checkbox"/> F | 1. 毒物 | 2. 劇物 | 3. 向精神薬 | 4. 大麻 |
| <input checked="" type="checkbox"/> G | 1. 表示 | 2. 着色 | 3. 包装 | 4. 購入 |

- | | | | | |
|----------------------------|--------|--------|--------|---------|
| <input type="checkbox"/> H | 1. 農業用 | 2. 工業用 | 3. 商業用 | 4. 生活の用 |
| <input type="checkbox"/> I | 1. 資格 | 2. 設備 | 3. 手順書 | 4. 技術 |
| <input type="checkbox"/> J | 1. 1年 | 2. 2年 | 3. 3年 | 4. 5年 |

【2】 次のうち、毒物及び劇物取締法により毒物劇物営業者に義務付けられていることとして、正しい組合せはどれか。

- ア. 毒物劇物営業者は、毒物を貯蔵する場所に、「医薬用外」の文字及び「毒物」の文字を表示しなければならない。
- イ. 毒物劇物営業者は、毒物劇物取扱責任者を置いたときは、50日以内に、その製造所、営業所又は店舗の所在地の都道府県知事にその毒物劇物取扱責任者の氏名を届け出なければならない。
- ウ. 毒物劇物営業者は、その取扱いに係る毒物が盗難にあい、又は紛失したときは、直ちに、その旨を保健所に届け出なければならない。
- エ. 毒物劇物営業者は、毒物の容器として、飲食物の容器として通常使用される物を使用してはならない。

- | | | |
|--------------------------|--------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 1. ア、イ | 2. イ、ウ |
| | 3. ウ、エ | 4. ア、エ |

【3】 毒物及び劇物取締法において規定されている事項に関する以下の記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- ア. 毒物劇物営業者は、特定毒物を譲り渡してはならない。
- イ. 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を18歳未満の者に交付してはならない。
- ウ. 引火性、発火性又は爆発性のある毒物又は劇物であって政令で定めるものは、業務その他正当な理由による場合を除いては、所持してはならない。
- エ. 毒物又は劇物の販売業の登録は、5年ごとに更新を受けなければ、その効力を失う。

- | | | | | |
|--------------------------|------|---|---|---|
| | ア | イ | ウ | エ |
| <input type="checkbox"/> | 1. 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| | 2. 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| | 3. 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| | 4. 誤 | 正 | 誤 | 正 |

▶▶ 正解&解説

毒物及び劇物に関する法規

[1] A…1 B…3 C…2 D…3 E…3 F…4 G…2 H…1
I…2 J…2

[解説] ア. 取締法第2条(定義)第2項。

この法律で「劇物」とは、別表第2に掲げる物であって、(A: **医薬品**)及び(B: **医薬部外品**)以外のものをいう。

イ. 取締法第3条(毒物劇物の禁止規定)第1項。

毒物又は劇物の(C: **製造業**)の(D: **登録**)を受けた者でなければ、毒物又は劇物を販売又は授与の目的で製造してはならない。

ウ. 取締法第8条(毒物劇物取扱責任者の資格)第2項第1～4号。

次に掲げる者は、前条の毒物劇物取扱責任者となることができない。

- 一 (E: **18歳**)未満の者
- 二 心身の障害により毒物劇物取扱責任者の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
- 三 麻薬、(F: **大麻**)、あへん又は覚せい剤の中毒者
- 四 毒物若しくは劇物又は薬事に関する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終り、又は執行を受けることがなくなった日から起算して3年を経過していない者

エ. 取締法第13条(農業用の劇物)。

毒物劇物営業者は、政令で定める毒物又は劇物については、厚生労働省令で定める方法により(G: **着色**)したものでなければ、これを(H: **農業用**)として販売し、又は授与してはならない。

オ. 取締法第5条(登録基準)。

都道府県知事は、毒物又は劇物の製造業、輸入業又は販売業の登録を受けようとする者の(I: **設備**)が、厚生労働省令で定める基準に適合しないと認めるとき、又はその者が第19条第2項若しくは第4項の規定により登録を取り消され、取消しの日から起算して(J: **2年**)を経過していないものであるときは、第4条第1項の登録をしてはならない。

[2] 4 (ア、エ)

[解説] ア. 取締法第12条(毒物又は劇物の表示)第3項。

イ. 「50日以内」⇒「**30日以内**」。取締法第7条(毒物劇物取扱責任者)第3項。

ウ. 「保健所」⇒「**警察署**」。取締法第17条(事故の際の措置)第2項。

エ. 取締法第11条(毒物又は劇物の取扱)第4項。

基礎化学

【11】 次のうち、純物質であるものの正誤として、正しい組合せはどれか。

ア. エタノール

イ. 塩酸

ウ. 食塩水

- | | ア | イ | ウ |
|--|---|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. | 正 | 正 | 正 |
| 2. | 正 | 誤 | 誤 |
| 3. | 正 | 正 | 誤 |
| 4. | 誤 | 誤 | 誤 |

【12】 次のうち、原子核のまわりのM殻に収容できる電子の最大数として、正しいものはどれか。

1. 2個 2. 8個 3. 16個 4. 18個

【13】 次のうち、遷移元素の化合物に関する記述として、誤っているものはどれか。

1. 銀 (I) イオン Ag^+ を含む溶液に、少量のアンモニア水を加えると酸化銀 Ag_2O の沈殿が生じるが、アンモニア水を過剰に加えると、錯イオンとなって溶解する。
2. 硫酸銅 (II) CuSO_4 水溶液に水酸化ナトリウム NaOH 水溶液を加えると、 Na_2SO_4 の沈殿が生じる。
3. 過マンガン酸カリウム KMnO_4 は、塩基性水溶液中で酸化剤としてはたらくと、酸化マンガン (IV) MnO_2 までしか還元されない。
4. 炭素棒を電極として塩化銅 (II) CuCl_2 水溶液を電気分解すると、陰極では炭素棒の表面に Cu が析出する。

【14】 濃度不明の希硫酸10.0mLを中和するのに、0.1mol/Lの水酸化ナトリウム水溶液を20.0mL加えたところ、中和点を超えてしまったため、0.05mol/Lの希硫酸8.0mL加えたところ、ちょうど中和点に達した。次のうち、濃度不明の希硫酸の濃度として最も適当なものはどれか。

1. 0.06mol/L 2. 0.08mol/L
3. 0.12mol/L 4. 0.16mol/L

【11】 2 (ア: 正 イ: 誤 ウ: 誤)

〔解説〕 ア. **エタノール** $C_2H_5(OH)$ …純物質 (2種類以上の元素からなる化合物)。
イ&ウ. 塩酸 (HCl と H_2O)、食塩水 ($NaCl$ と H_2O) …**混合物** (2種類以上の純物質が混ざり合ったもの)。

【12】 4

〔解説〕 電子殻は内側からK殻、L殻、M殻、N殻…となっており、それぞれ収容できる電子の最大数は2個、8個、**18個**、32個…と定まっている。

【13】 2

〔解説〕 反応式: $CuSO_4 + 2NaOH \longrightarrow Cu(OH)_2 + Na_2SO_4$
硫酸銅水溶液に水酸化ナトリウム水溶液を加えると、**硫酸ナトリウム** Na_2SO_4 と**水酸化銅 (Ⅱ)** $Cu(OH)_2$ の沈殿が生じる。

【14】 1

〔解説〕 求める硫酸 H_2SO_4 の濃度を x mol/L とし、中和で使用する濃度不明の希硫酸 10.0mL と 0.05mol/L の希硫酸 8.0mL を合わせると次のとおりとなる。

$$x \text{ mol/L} \times (10/1000) \text{ L} + 0.05 \text{ mol/L} \times (8/1000) \text{ L} \quad \cdots \textcircled{1}$$

中和反応式: $H_2SO_4 + 2NaOH \longrightarrow Na_2SO_4 + 2H_2O$

硫酸は2価の酸、水酸化ナトリウムは1価の塩基であり、硫酸に①の式を代入すると次の等式が成り立つ。

$$\begin{aligned} 2 \times \{x \text{ mol/L} \times (10/1000) \text{ L} + 0.05 \text{ mol/L} \times (8/1000) \text{ L}\} \\ = 1 \times 0.1 \text{ mol/L} \times (20/1000) \text{ L} \end{aligned}$$

両辺に1000をかける。

$$\begin{aligned} 2 \{x \text{ mol/L} \times (10 \text{ mL}) + 0.05 \text{ mol/L} \times (8 \text{ mL})\} \\ = 0.1 \text{ mol/L} \times 20 \text{ mL} \end{aligned}$$

$$2x \text{ mol/L} \times 10 \text{ mL} + 0.1 \text{ mol/L} \times 8 \text{ mL} = 0.1 \text{ mol/L} \times 20 \text{ mL}$$

$$2x \text{ mol/L} \times 10 \text{ mL} = 0.1 \text{ mol/L} \times 12 \text{ mL}$$

$$20x = 1.2$$

$$x = \mathbf{0.06 \text{ (mol/L)}}$$

【15】 4

〔解説〕 水 H_2O の分子個数 (アボガドロ定数) は 6.0×10^{23} 個。

そのうち、水素原子 H の個数は $2 \text{ mol} \times 6.0 \times 10^{23} \text{ 個} = 1.2 \times 10^{24}$ 個。

水 H_2O の物質量は $1 \times 2 + 16 = 18$ よりモル質量 18 g/mol 、90mL (90 cm^3) の水は $90/18 = 5$ より、5 mol である。

1 mol あたりの水素原子の個数が 1.2×10^{24} 個なので、5 mol の場合は、 $5 \text{ mol} \times 1.2 \times 10^{24} \text{ 個} = \mathbf{6 \times 10^{24} \text{ 個}}$ となる。

実地（性質・貯蔵・取扱い方法等）

【26】 次の物質の貯蔵方法に関する記述として、最も適当なものはどれか。

- A. シアン化カリウム（別名：青酸カリ）
 B. アクリルアミド
 C. ナトリウム
 D. ベタナフトール

1. 直射日光や高温にさらされると、アンモニア等が発生するので、直射日光や高温を避けること。
2. 少量ならばガラス瓶、多量ならばブリキ缶または鉄ドラム缶を用い、酸類とは離して、風通しのよい乾燥した冷所に密封して保管する。
3. 光線に触れると赤変するため、遮光して保管する。
4. 空気中にそのまま保存することはできないので、通常、石油中に保管する。

【27】 塩素に関する以下の記述の正誤について、最も適当な組合せはどれか。

- ア. 激しい刺激臭があり、粘膜接触により刺激症状を呈し、眼、鼻、咽喉および口腔粘膜に障害を与える。
イ. 冷却すると、黄色溶液を経て、黄白色固体となる。
ウ. 適切な廃棄方法は、酸化法である。

- | | ア | イ | ウ |
|--|---|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. | 正 | 正 | 誤 |
| 2. | 正 | 誤 | 正 |
| 3. | 誤 | 誤 | 正 |
| 4. | 誤 | 正 | 誤 |

【28】 次のうち、ホスゲンに関する記述として、誤っているものはどれか。

1. 水と徐々に反応して硫化水素ガスを発生する。
2. ベンゼン、トルエンに溶けやすい。
3. 無色の窒息性の気体である。
4. 吸入すると、鼻、のど、気管支等の粘膜を刺激し、炎症を起こす。

A. 設問にある過マンガン酸カリウムとシュウ酸ナトリウムの反応式をみると、 2KMnO_4^- と $5\text{C}_2\text{O}_4^{2-}$ より2:5で反応することがわかる。

この反応比より、過マンガン酸カリウムは、シュウ酸ナトリウム $2/5b = 0.4b$ (mol) と反応する。

過マンガン酸カリウムは、①の有機化合物を酸化させた量を x (mol) とすると、この x と③で足した c (mol) はシュウ酸ナトリウムを酸化させた $0.4b$ (mol) と同量であることから、 $x + c = 0.4b$ より、 $x = 0.4b - c$ となる。

この x を最初に加えた①の a (mol) から引くと過マンガン酸カリウムは、 $a - (0.4b - c) = a - 0.4b + c$ が消費された量となる。

B. 過マンガン酸のイオン反応式より、 MnO_4^- は1 molあたり5 molの電子 e^- を受け取り、酸素のイオン反応式より、 O_2 は1 molあたり4 molの電子を受け取ることがわかる。従って、酸素は、過マンガン酸カリウムと同量を酸化するには、**5/4倍**の量が必要となる。

——— 実地 (性質・貯蔵・取扱い方法等) ———

【26】 A…2 B…1 C…4 D…3

〔解説〕 A. シアン化カリウム (青酸カリ) KCN [酸類とは離す] [乾燥した冷所に密封して保管]

B. アクリルアミド $\text{CH}_2 = \text{CHCONH}_2$ [直射日光や高温にさらされると、アンモニア等が発生]

C. ナトリウム Na [通常、石油中に保管]

D. ベタナフトール $\text{CH}_{10}\text{H}_7\text{OH}$ [光線に触れると赤変]

【27】 1 (ア:正 イ:正 ウ:誤)

〔解説〕 ウ. 塩素 Cl_2 の適切な廃棄方法は、**還元法** (還元剤 (例えばチオ硫酸ナトリウム水溶液など) の溶液を加えた後、中和する) である。

【28】 1

〔解説〕 1. ホスゲン COCl_2 は、水により徐々に分解され、**二酸化炭素** CO_2 と**塩化水素** HCl が発生する。

【29】 A…2 B…3 C…4 D…1

〔解説〕 A. 硝酸 H_2SO_4 [水酸化カルシウム、炭酸ナトリウム等で中和]

B. メチルエチルケトン $\text{C}_2\text{H}_5\text{COCH}_3$ [土砂等に吸着] [液の表面を泡で覆う]

C. ピクリン酸 $\text{C}_6\text{H}_2(\text{OH})(\text{NO}_2)_3$ [乾燥させない] [金属製のものを使用しない]

D. クロム酸ナトリウム $\text{Na}_2\text{CrO}_4 \cdot 10\text{H}_2\text{O}$ [還元剤 (硫酸第一鉄等) の水溶液を散布]